

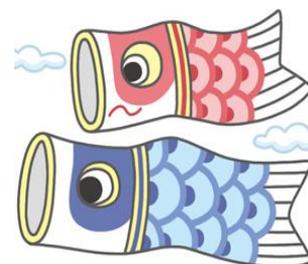


2012年5月号

— 日ごとの糧を共に —

カトリック麹町 聖イグナチオ教会

《献米だより》
四ッ谷おにぎり仲間
カレーの会
そして
ミニバザー



「カレーの会」に参加して

「カレーの会」のボランティアとして参加しはじめたのは、たしか一昨年の秋頃だったと思います。高齢の私でも何かお役にたつことがあるかしらと厨房をのぞいてみました。すると中は活気に満ち、じゃがいもの皮むきや玉葱刻み等7~8人の方々が忙しく立ち働いていました。そして、私を笑顔で迎え入れてくれました。

月曜日の朝カレー作りに出向く途中、土手の寒風吹きさらす中に多くの人々が供食を待っています。一回の人数はおよそ250名くらいでしょうか。こうした中、私が最も驚くことは、ここに来られる方々の為に差し上げるものが、「毎回尽きることがない」ということです。

マルコ福音書に、イエスの教えを聴きに来た5,000人の人々に、イエスが5つのパンと2匹の魚を与える話があります。そして、「すべての人が食べて満腹した」(マルコ6:42)と記され、弟子たちは残ったパンのくずの多さに驚きます。どのように5,000人ものが満足し、さらに、残るほどの食べ物が増えたのかわかりません。しかし、分かち合うことによって、集うすべての人々に食べ物が行きわたり、多くの人々が食べて満腹しました。

この聖書のメッセージは、まさに「カレーの会」で起こっていることでした。一度に炊くお米は30kgを超える量にもなります。そして、このお米は毎週の活動において尽きることがないので、具体的には顔の見えない善意の人々がカレーの材料やお米を分かち合ってくれているからなのですが、私には弟子たちを通してパンを配られたイエスが、現代においてもこの小さな「カレーの会」を通して働いておられると感じています。

今、東日本大震災を経験した日本は、多くの苦しみを味わっています。「復興」や「絆」等の被災地を思いやる言葉があふれている一方で、「風評被害」は止まらず、がれきの受け入れもなかなか進まない状況です。このような中で、私は「カレーの会」を通して経験して分かち合うことにより、「すべての人々が食べて満腹した」ことの意味を考え続けています。「パン」はこの現代において何を意味しているのでしょうか。また分かち合うとはどういうことなのでしょうかと。

現代この生きにくい社会の中で、いろんな不条理を経験し、不遇な境遇の中におられる人々に、たとえ一食でも心のこもった温かい食事と交わりを提供できたらと思います。そして微力ながら、この活動に参加できることによって、その一端に加えていただいていることを感謝しています。

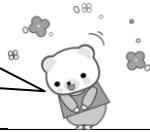
シスター古賀 綾子 (幼きイエス会)



4月の献米報告

お米・・・146.5キロ
お米券・・・8枚
お米券相当現金・・・6550円
海苔・・・7袋
梅干し・・・5パック
サランラップ・・・6本

ありがとう
ございました



今後の献米日の予定

6月 2日(土) 午後5時45分～6時(18時のミサの前)
6月 3日(日) 午前8時20分～11時半(8時半、10時のミサの前後)

- 集めているものは、お米券、白米(玄米はご遠慮ください)、梅干し、海苔、ラップです。
- 毎週土曜日、14:00～17:00まで、テレジアホールのパントリー1でも、四ツ谷おにぎり仲間が献米を受け付けております。

おにぎりの会報告

4月の土曜日おにぎり配布個数は、総計540個となりました。ご協力ありがとうございました。

カレーの会報告

4月のカレーの会・炊き出し利用者は1,347名。シャワー利用者69名。
ヘヤーカット7名となりました。ご協力感謝しております。
なお、カレーの会では常時、配膳ボランティアを募集しています。
奉仕時間：毎週月曜日、午前8時～11時
場所：テレジアホール・パントリー

3月度ミニバザーの収益金報告

3月のミニバザー売上げ高は118,240円でした。皆様のご協力に感謝いたします。

次回のミニバザー開催日・・・5月20日(日) 午前9時～午後2時

場所：主聖堂正面前
開催日は原則として第3日曜日です。
宜しくお願い致します。

☆ミニバザーのための献品・・・毎週日曜日 午前8時半～午後1時半

メリエンダ入口の献品収集ケースに入れてください。
かさばる品・賞味期限切れの食品はご遠慮ください。
女性・子供用中古衣類もご遠慮下さい。

☆ホームレスの方々への献品・・・献品場所・時間はミニバザー献品と同じです。

男物春衣料(ズボン・ポロシャツ等)・タオル・石鹸・髭剃り・帽子
靴下・男物下着・スニーカーなど。(背広・ネクタイは扱いません)
中古品も歓迎します。

